

企001	項目名	若者定住促進事業費	新規事業																				
予算書項目	総合企画費	ページ	169																				
年度	R7	所 属 名	企画推進部 政策企画課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013																						
款 総務費	【11次総の施策体系】 1101 ●実施計画																						
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少・少子高齢化が進行する中、鳥取市をはじめ麒麟のまち圏域が連携し、将来にわたって継続・発展していくための、若者定住につながる施策に取り組むことが求められている。現在、「すこい！鳥取市婚活サポートセンター」の対象者を麒麟のまち圏域に拡大し「麒麟のまち婚活サポートセンター」として運営している。																						
目 企画費	【事業の目的及び効果】 結婚を希望する男女の「婚活」を支援することにより、結婚による若者の定住を促進し、圏域の人口増加を図る。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 麒麟のまち婚活サポートセンターの運営を委託し、出会いの機会の創出を図るとともに、成婚へつながるようサポートを行う。 ・婚活イベントの開催 ・会員対象のサークル活動 ・カップル対象イベントの開催 ・スキルアップのための各種セミナーの開催 ・出会いから結婚までのサポート など																						
前年度当初予算額	13,083	【事業の実績】																					
本年度要求額	10,106	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[事業費]</td> <td>[登録会員数]</td> <td>[カップル成立数]</td> <td>[成婚者数]</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>9,260千円</td> <td>2,163人</td> <td>75組</td> <td>28人(6組)</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>9,286千円</td> <td>2,373人</td> <td>100組</td> <td>21人(1組)</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>13,083千円</td> <td>2,513人</td> <td>49組</td> <td>18人(3組)(見込)</td> </tr> </table> <p>※令和6年度実績は12月末時点 会員同士の成婚数 累計46組(平成26年度～令和6年12月末)</p>			[事業費]	[登録会員数]	[カップル成立数]	[成婚者数]	令和4年度	9,260千円	2,163人	75組	28人(6組)	令和5年度	9,286千円	2,373人	100組	21人(1組)	令和6年度	13,083千円	2,513人	49組	18人(3組)(見込)
	[事業費]	[登録会員数]	[カップル成立数]	[成婚者数]																			
令和4年度	9,260千円	2,163人	75組	28人(6組)																			
令和5年度	9,286千円	2,373人	100組	21人(1組)																			
令和6年度	13,083千円	2,513人	49組	18人(3組)(見込)																			
総務部長段階査定額	10,106	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																					
市長段階査定額	10,106	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>5,053</td> </tr> <tr> <td>贈収</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	5,053	贈収	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	5,053																						
贈収	0																						
その他	0																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	5,053																						
一般財源	5,053																						
計	10,106																						
備考欄																							

企002	項目名	総合計画策定事業費	新規事業																				
予算書項目	総合企画費	ページ	169																				
年度	R7	所 属 名	企画推進部 政策企画課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】 地方創生推進室 0857-30-8014																						
款 総務費	【11次総の施策体系】 0001																						
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 第11次鳥取市総合計画を令和3年4月に策定し、本市の将来像の実現に向けて各施策を推進してきた。この基本計画期間(令和3年度～7年度)が令和7年度で終了するため、第12次鳥取市総合計画(基本計画期間：令和8年度～12年度)の策定に取り組む。																						
目 企画費	【事業の目的及び効果】 令和8年度を初年度とする第12次鳥取市総合計画及びその重点施策である第3期鳥取市創生総合戦略を作成する。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 令和6年度に実施した市民等参加事業(市民アンケート、学生アンケート、ワークショップ等)、現況調査分析等の結果を反映し、第12次鳥取市総合計画および第3期鳥取市創生総合戦略を作成する。																						
前年度当初予算額	13,865	【事業の実績】																					
本年度要求額	2,889	令和6年度 第12次鳥取市総合計画等策定支援業務委託費等 13,865千円(見込) ①市民、学生等に対する意識調査、人口推計、現況調査分析等による各種データの収集・分析 ②市民ワークショップの開催 ③総合計画策定内プロジェクトチームの設置等、計画策定に必要な庁内体制の整備																					
総務部長段階査定額	1,510	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	1,510																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	1,510																						
計	1,510																						
備考欄																							

企003	項目名	若者による地方創生政策推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	169
年度	R7	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【11次総の施策体系】1405 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市では、平成27年度から始まった地方創生の取組を受けて、従前の「鳥取市若者会議」を見直して、平成28年4月から、若者の視点による地方創生に向けた取組の深化を図ることを目的に、「とっとり若者地方創生会議」を設置している。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 若者自らが、地方創生に関する調査研究を行い、若者の視点による必要な施策を市に提言することで、本市の地方創生に向けた取組の深化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 公募や団体推薦により集まった若者（大学生や専門学校生等）により「とっとり若者地方創生会議」を組織し、年間を通じた会議や視察、イベントなどの調査研究活動を通じて、若者定住やまちの賑わいづくりに資する施策を取りまとめ、市に提言する。 若者会議の令和5年度政策提言を受け、令和7年度から委員要件を拡充し、従前の「市内委員」（通勤・通学を含む）に加え、本市に在住したことのある若者が市外からオンライン参加で活動する「市外委員」を創設する。		
前年度当初予算額	677	・会議の開催 20回 ・補助金を活用した事業の実施 1回 ・委員構成 市内委員 9名程度・・・従前から継続 市外委員（オンライン参加） 3名程度・・・令和7年度から拡充 計12名程度	
本年度要求額	857	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	857	[事業費] [委員] [会議（※成果発表会1回を含む）]	
市長段階査定額	857	令和4年度 355千円 9名（大学生8名、専門学校生1名） 17回 令和5年度 402千円 9名（大学生7名、専門学校生2名） 25回 令和6年度 677千円 9名（大学生7名、専門学校生2名） 20回（見込）	
区分	本年度予算額	【その他財源の内訳】	
財源内訳	171	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 0 その他 0	
国・県支出金	0	計	
地方債	0	857	
その他	0	備考欄	
一般財源	686		
計	857		

企004	項目名	麒麟のまち創生推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	169
年度	R7	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広域連携係 0857-30-8013		
款 総務費	【11次総の施策体系】2204 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取市と岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町の1市6町は、連携中枢都市圏を形成し、人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域の持続的発展を目指し、広域連携による取組を進めている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 麒麟のまち創生戦略会議と連携中枢都市圏ビジョン懇談会による連携中枢都市圏ビジョンの進捗管理を行う。 また、圏域住民の地域愛着度向上を目的として、圏域住民に向けた圏域各市町の相互理解を図るエリアプロモーションに取り組む。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・麒麟のまち創生戦略会議の開催（3回） ・連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催（2回） ・エリアプロモーション事業 麒麟のまち聖地巡礼フォトラリー（3,014千円）		
前年度当初予算額	3,453	【事業の実績】	
本年度要求額	4,478	[総事業費] [創生戦略会議] [ビジョン懇談会] [エリアプロモーション]	
総務部長段階査定額	3,574	令和4年度 2,491千円 3回 3回 2,177千円 令和5年度 2,836千円 3回 2回 2,512千円 令和6年度 3,453千円 3回 2回 2,986千円（見込）	
市長段階査定額	3,574	計	
区分	本年度予算額	備考欄	
財源内訳	1,397		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,177		
計	3,574		

企005	項目名	鳥取・岡山県境連携推進協議会負担金		新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	169	所 属 名
年度	R7	企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013			
款 総務費	【11次総の施策体系】 2204 ●実施計画			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	昭和44年に本協議会の前身である「鳥取・岡山県境開発促進協議会」が発足し、本市では合併前の用瀬町及び佐治村が加入していた。旧協議会は、平成の大合併を前にいったん解散したが、合併が一段落した平成18年に、鳥取市、三朝町、倉吉市、江府町、日野町、日南町、新見市、西粟倉村、美作市、奈義町、津山市、鏡野町、真庭市、新庄村の14市町村により改めて発足した。その後、平成20年に智頭町と若桜町が加入した。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	7	本協議会は、鳥取・岡山両県の県境に接する16市町村で構成されており、各市町村が連携し、関係機関等に対する要請、関係団体との連絡及び必要な調査研究を行うことにより地元産業の振興と地域開発を促進することを目的としている。今後の地方行政を考える上で、県境を越えた広域連携を行うことは非常に重要である。		
本年度要求額	22	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	22	鳥取・岡山県境連携推進協議会への参加 ・総会、会議等への出席 ・岡山県・鳥取県両知事への要望		
市長段階査定額	22	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	○会議等の開催（令和6年度：日野町が会長） ・総会（1回） ・構成市町村担当課長・担当会議（1回） ○研究・勉強会の開催 ・構成市町村（1回） ○要望活動 岡山県及び鳥取県へ会長、副会長による要望書の提出		
財源内訳		○会議等の開催（令和6年度：日野町が会長） ・総会（1回） ・構成市町村担当課長・担当会議（1回） ○研究・勉強会の開催 ・構成市町村（1回） ○要望活動 岡山県及び鳥取県へ会長、副会長による要望書の提出		
国・県支出金	0	【事業の実績】		
地方債	0	○会議等の開催（令和6年度：日野町が会長） ・総会（1回） ・構成市町村担当課長・担当会議（1回） ○研究・勉強会の開催 ・構成市町村（1回） ○要望活動 岡山県及び鳥取県へ会長、副会長による要望書の提出		
その他	0	【事業の実績】		
一般財源	22	○会議等の開催（令和6年度：日野町が会長） ・総会（1回） ・構成市町村担当課長・担当会議（1回） ○研究・勉強会の開催 ・構成市町村（1回） ○要望活動 岡山県及び鳥取県へ会長、副会長による要望書の提出		
計	22	【事業の実績】		
備考欄				

企006	項目名	シティセールス推進事業費		新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	169	所 属 名
年度	R7	企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013			
款 総務費	【11次総の施策体系】 2203 ●実施計画			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	平成29年度より「鳥取市シティセールス戦略」を策定し、ブランドスローガン「SQのあるまち」に基づく各施策を展開している。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	601	ブランドスローガン「SQのあるまち」の浸透を図るとともに、「鳥取市シティセールス戦略」に基づく事業を展開し、鳥取市ブランドを確立し、人や企業から選ばれるまち鳥取市の実現をめざす。		
本年度要求額	564	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	564	・シティセールス戦略推進会議の開催 2回 ・SQのあるまち推進職員研修の開催 1回		
市長段階査定額	564	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	[シティセールス戦略推進会議] [職員研修の開催]		
財源内訳		[事業費] [シティセールス戦略推進会議] [職員研修の開催]		
国・県支出金	0	令和4年度	315千円	1回
地方債	0	令和5年度	440千円	1回
その他	0	令和6年度	601千円	1回
一般財源	564	(見込)		
計	564			
備考欄				

企007	項目名	麒麟のまち圏域学生・若手社会人交流事業費		新規事業	○
予算書項目	総合企画費		ページ	169	
年度	R7		所 属 名 企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012				
款 総務費	【11次総の施策体系】2201 ●実施計画				
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市では、就職等をきっかけに若者が県外へ流出しており、若者定着が課題となっている。一方で、地域の社会人と接点のある学生が地域に定着している事例が県内にあり、そのような学生を増やすことによって、麒麟のまち圏域の若者定着を促進する必要がある。				
目 企画費	【事業の目的及び効果】 麒麟のまち圏域の学生と若手社会人がつながる機会をつくることで、学生においては麒麟のまち圏域での暮らしや就職を考えるヒントを得る機会とし、若手社会人においては学生の考え方や生活の様子を理解し、採用活動やビジネスなどの学生に対する取組の充実につなげる機会とすることで、麒麟のまち圏域の若者定着と地域活性化を促進する。				
(単位：千円)	【事業の内容】 麒麟のまち圏域に在住している学生と若手社会人の交流会を開催する。				
前年度当初予算額	0		○対 象 者：麒麟のまち圏域に在住・通学している学生（大学生・専門学生）10名程度/回 麒麟のまち圏域に在住・通勤している若手社会人 10名程度/回		
本年度要求額	423		○開催回数：2回（予定） ○場 所：中心市街地の民間施設（予定） ○内 容：ファシリテーターがサポートしながら、学生と若手社会人が食事や体験をしながら自由に交流する。		
総務部長段階査定額	423		【事業の内容】 麒麟のまち圏域に在住している学生と若手社会人の交流会を開催する。		
市長段階査定額	423		○対 象 者：麒麟のまち圏域に在住・通学している学生（大学生・専門学生）10名程度/回 麒麟のまち圏域に在住・通勤している若手社会人 10名程度/回		
区分	本年度予算額	○開催回数：2回（予定）			
財源内訳	国・県支出金	211	○場 所：中心市街地の民間施設（予定）		
	地方債	0	○内 容：ファシリテーターがサポートしながら、学生と若手社会人が食事や体験をしながら自由に交流する。		
	その他	0			
	一般財源	212			
	計	423			
備考欄					

企008	項目名	環境大学運営費交付金		新規事業	
予算書項目	公立大学法人運営事業費		ページ	171	
年度	R7		所 属 名 企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012				
款 総務費	【11次総の施策体系】1102 ●実施計画				
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 地方独立行政法人法第42条第1項の規定に基づき、公立鳥取環境大学の共同設置者の鳥取県と鳥取市は、同大学に対して運営費交付金等を交付している（鳥取県及び鳥取市の負担額は1/2ずつ）。				
目 企画費	【事業の目的及び効果】 公立鳥取環境大学の安定的な運営を図るとともに、授業料等への支援が必要な学生の経済的負担の軽減を図る。				
(単位：千円)	【事業の内容】 大学運営に必要な経費の一部について運営費交付金を交付するとともに、大規模な修繕等の経費に対して施設整備費補助金を交付する。また、高等教育の修学支援新制度に係る経費に対して授業料減免費等交付金を交付する。				
前年度当初予算額	563,605		・運営費交付金の交付 495,737千円 ・施設整備費補助金の交付 42,311千円 ・授業料減免費等交付金の交付 87,564千円		
本年度要求額	625,612		【事業の実績】		
総務部長段階査定額	625,612		[運営費交付金] [施設整備補助金] [授業料減免費等交付金]		
市長段階査定額	625,612		令和4年度 436,826千円 51,249千円 40,301千円 令和5年度 430,591千円 39,802千円 41,390千円 令和6年度 496,930千円 25,158千円 41,517千円 (見込)		
区分	本年度予算額				
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	42,200			
	その他	0			
	一般財源	583,412			
	計	625,612			
備考欄					

企009	項目名	旧本庁舎跡地活用事業費	新規事業
予算書項目	旧本庁舎・第二庁舎跡地活用事業費	ページ	171
年度	R7	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【11次総の施策体系】 2402 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	市庁舎機能移転後の旧本庁舎及び第二庁舎の跡地活用については、これまで、市議会「本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会」、学識経験者で構成する「旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会」においてそれぞれ検討を行い、令和3年度に一定の方向性を決定した。そして、令和4年度には基本計画・基本設計を、また令和5年度には測量・実施設計を実施し、令和6年度から2か年で施設整備を進めている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	0	旧本庁舎等跡地活用における一定の方向性「防災機能の整備、緑地の配置により『震災時の避難地及び復旧活動の拠点となり得る、緑あふれる広場』を中心としたオープンスペースとして活用し、広域から人が集う憩いの広場としてにぎわいを創出する』に沿って、緑地広場やイベント広場、駐車場を整備する。	
本年度要求額	479,840	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	479,840	旧本庁舎跡地に緑地広場やイベント広場、駐車場等を整備する（整備期間：令和6年度から令和7年度）。	
市長段階査定額	479,840	＜令和7年度事業費＞	
区分	本年度予算額	緑地広場工事等（土木・建築・造園・電気等） 470,390千円	
国・県支出金	1,155	工事事務費 5,410千円	
地方債	475,800	芝生整備等（芝苗・準備作業・自動芝刈機購入等） 2,310千円	
その他	0	広場オープンイベント（折込チラシ・運営等） 1,730千円	
一般財源	2,885	合計 479,840千円	
計	479,840	【事業の実績】	
備考欄		令和4年度 16,522千円 基本設計・基本設計 令和5年度 38,016千円 測量・実施設計 令和6年度 392,896千円 用地取得費・整備事業費等（見込）	

企010	項目名	鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費	新規事業
予算書項目	高等教育機関在学学生支援事業費	ページ	171
年度	R7	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【11次総の施策体系】 2201 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	本市では20代を中心に若年人口の社会減が続いており、若者定住に向けた取組の一つとして本市に所在する大学または専門学校に通う学生に、麒麟のまち圏域の企業や地域の魅力を知ってもらうことが必要である。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	2,000	本市に所在する大学または専門学校に通う学生を対象に、麒麟のまち圏域の企業への就職促進や地域の魅力の理解促進を図ることで、若者定住につなげる。	
本年度要求額	2,000	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	1,000	本市に所在する大学または専門学校が、在学学生を対象に行う次の①または②の要件を満たす事業に対して助成を行う。	
市長段階査定額	1,000	【対象事業】	
区分	本年度予算額	①学生の麒麟のまち圏域への就職を促進する事業 （補助対象経費）外部講師への謝礼、市内の企業訪問に係る経費 など	
国・県支出金	0	②学生が麒麟のまち圏域に住みたいと思えるような魅力を発見するための事業 （補助対象経費）校外でのフィールドワークに係る経費 など	
地方債	0	【補助率】1/2	
その他	1,000	【事業の実績】	
一般財源	0	[事業費] [件数]	
計	1,000	令和4年度 634千円 3件（大学2件、専門学校1件） 令和5年度 634千円 3件（大学2件、専門学校1件） 令和6年度 580千円 4件（大学2件、専門学校2件）（見込）	
備考欄		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

企011	項目名	まちなか交流広場管理費	新規事業	○																				
予算書項目	まちなか交流広場管理費	ページ	171	所 属 名																				
年度	R7	企画推進部 政策企画課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012																							
款 総務費	【11次総の施策体系】2402																							
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市役所旧本庁舎跡地に整備を進めている緑地広場やイベント広場、駐車場を備えた「鳥取市まちなか交流広場」は令和8年3月の供用開始を予定している。																							
目 企画費	【事業の目的及び効果】 鳥取市まちなか交流広場の管理運営を行うことで、市民の交流を推進し、中心市街地の賑わい創出を図るとともに、市民の防災意識の高揚に資する。																							
(単位：千円)	【事業の内容】 鳥取市まちなか交流広場の運営管理を、指定管理者への委託と直接管理により行う。																							
前年度当初予算額	0	1. 指定管理 (1) 指定期間：令和8年3月1日～令和11年3月31日（3年1か月）予定 (2) 業務範囲：施設・設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、植栽管理等） 施設使用に関する業務等 (3) 委託料：816千円																						
本年度要求額	1,653	2. 直接管理 (1) 光熱水費・駐車場機器管理費・Wi-Fi管理費等：837千円																						
総務部長段階査定額	1,653	※その他財源の使用料は、広場使用料・駐車場使用料																						
市長段階査定額	1,653	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	2	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	2																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収	0																							
その他	0																							
区分	本年度予算額																							
財源内訳																								
国・県支出金	0																							
地方債	0																							
その他	2																							
一般財源	1,651																							
計	1,653																							
備考欄																								

企012	項目名	市政広報費	新規事業	
予算書項目	市政広報費	ページ	165	所 属 名
年度	R7	企画推進部 秘書課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】広報室 0857-30-8008			
款 総務費	【11次総の施策体系】2203 ●実施計画			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市民が様々な場面や手段で市政情報を容易に取得できるよう、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ、SNSなど様々なメディアを活用して情報提供を行っている。			
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 様々なメディア・SNS等の持つ特性を生かし、市政情報を市民に発信することは、本市の広報戦略上重要な課題であり、効果的な情報発信・提供を行い市政情報の市民への浸透を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	56,160	(1) ケーブルテレビ・・・行政情報番組：毎週金・土曜日に30分番組 延べ20回×年50本、その他企画番組		
本年度要求額	70,124	(2) 新聞等・・・記事下・折り込み広告等に市政情報を掲載 市長対談記事を年1回掲載		
総務部長段階査定額	69,410	(3) テレビ・・・スポットCM（物価高騰対応関連事業等）及び企画番組		
市長段階査定額	69,410	(4) ラジオ・・・FM鳥取の番組委託（市政広報番組、イベント情報番組など）		
区分	本年度予算額	(5) 鳥取駅前地下道広告・・・市政情報や一般広告を掲出		
財源内訳		(6) SNS・・・LINE、YouTube等を活用した市政関連情報の発信		
国・県支出金	12,857	【事業の実績】		
地方債	0	令和4年度 53,819千円		
その他	209	令和5年度 55,940千円		
一般財源	56,344	令和6年度 56,160千円（見込）		
計	69,410	※その他財源の諸収入は、広告料収入		
備考欄				

企013	項目名	鳥取市知名度アップ大作戦事業費		新規事業
予算書項目	市政広報費	ページ	165	所 属 名
年度	R7	企画推進部 秘書課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 広報室 0857-30-8008			
款 総務費	【11次総の施策体系】 2203 ●実施計画			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少や地方分権の流れから地域間競争が激化することを見据え、平成20年度から知名度アップ事業を実施。「すごい!鳥取市」に続き、「#鳥取家族」をキャッチコピーとするシティプロモーション戦略を展開し、全国的な認知度の向上に取り組んでいる。			
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 本市の全国的な知名度・認知度の向上により、観光入込客数や移住定住者の増加を図るとともに、市民自身も、自信と誇りを持てる市民愛着度の向上につなげていくことで、住む人・来る人に愛され続ける鳥取市の実現を推進する。			
(単位:千円)	【事業の内容】 シティプロモーション「#鳥取家族」では、市民が主役のプロモーションを展開し、鳥取市ならではの魅力を全国に向けて発信することで、「住みたい田舎ランキング」で常に上位に位置する本市のイメージ定着を図ってきた。今後も、コロナ禍以降の価値観や行動様式の変化を的確に捉えながら、鳥取市で暮らすこと、鳥取市を訪れることの意義を効果的にPRし、全国的な認知度を獲得することで関係人口や定住人口の増加、来訪促進等による地域経済の活性化、市民愛着度の向上につなげる。			
前年度当初予算額	17,745	【事業の実績】 令和4年度 17,610千円 令和5年度 17,570千円 令和6年度 17,745千円(見込)		
本年度要求額	17,745			
総務部長段階査定額	17,651	【事業の内容】 シティプロモーション「#鳥取家族」では、市民が主役のプロモーションを展開し、鳥取市ならではの魅力を全国に向けて発信することで、「住みたい田舎ランキング」で常に上位に位置する本市のイメージ定着を図ってきた。今後も、コロナ禍以降の価値観や行動様式の変化を的確に捉えながら、鳥取市で暮らすこと、鳥取市を訪れることの意義を効果的にPRし、全国的な認知度を獲得することで関係人口や定住人口の増加、来訪促進等による地域経済の活性化、市民愛着度の向上につなげる。		
市長段階査定額	17,651	【事業の実績】 令和4年度 17,610千円 令和5年度 17,570千円 令和6年度 17,745千円(見込)		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 シティプロモーション「#鳥取家族」では、市民が主役のプロモーションを展開し、鳥取市ならではの魅力を全国に向けて発信することで、「住みたい田舎ランキング」で常に上位に位置する本市のイメージ定着を図ってきた。今後も、コロナ禍以降の価値観や行動様式の変化を的確に捉えながら、鳥取市で暮らすこと、鳥取市を訪れることの意義を効果的にPRし、全国的な認知度を獲得することで関係人口や定住人口の増加、来訪促進等による地域経済の活性化、市民愛着度の向上につなげる。		
財源内訳		【事業の実績】 令和4年度 17,610千円 令和5年度 17,570千円 令和6年度 17,745千円(見込)		
国・県支出金	17,000	【事業の内容】 シティプロモーション「#鳥取家族」では、市民が主役のプロモーションを展開し、鳥取市ならではの魅力を全国に向けて発信することで、「住みたい田舎ランキング」で常に上位に位置する本市のイメージ定着を図ってきた。今後も、コロナ禍以降の価値観や行動様式の変化を的確に捉えながら、鳥取市で暮らすこと、鳥取市を訪れることの意義を効果的にPRし、全国的な認知度を獲得することで関係人口や定住人口の増加、来訪促進等による地域経済の活性化、市民愛着度の向上につなげる。		
地方債	0	【事業の実績】 令和4年度 17,610千円 令和5年度 17,570千円 令和6年度 17,745千円(見込)		
その他	0	【事業の内容】 シティプロモーション「#鳥取家族」では、市民が主役のプロモーションを展開し、鳥取市ならではの魅力を全国に向けて発信することで、「住みたい田舎ランキング」で常に上位に位置する本市のイメージ定着を図ってきた。今後も、コロナ禍以降の価値観や行動様式の変化を的確に捉えながら、鳥取市で暮らすこと、鳥取市を訪れることの意義を効果的にPRし、全国的な認知度を獲得することで関係人口や定住人口の増加、来訪促進等による地域経済の活性化、市民愛着度の向上につなげる。		
一般財源	651	【事業の実績】 令和4年度 17,610千円 令和5年度 17,570千円 令和6年度 17,745千円(見込)		
計	17,651	【事業の内容】 シティプロモーション「#鳥取家族」では、市民が主役のプロモーションを展開し、鳥取市ならではの魅力を全国に向けて発信することで、「住みたい田舎ランキング」で常に上位に位置する本市のイメージ定着を図ってきた。今後も、コロナ禍以降の価値観や行動様式の変化を的確に捉えながら、鳥取市で暮らすこと、鳥取市を訪れることの意義を効果的にPRし、全国的な認知度を獲得することで関係人口や定住人口の増加、来訪促進等による地域経済の活性化、市民愛着度の向上につなげる。		
備考欄				

企014	項目名	地産地消!地域応援クーポン事業費(重点支援地方交付金)		新規事業
予算書項目	地産地消!地域応援クーポン事業費	ページ	171	所 属 名
年度	R7	企画推進部 秘書課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 広報室 0857-30-8008			
款 総務費	【11次総の施策体系】 2203 ●実施計画			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 コロナ禍における外出制限や営業自粛、コロナ禍以降の行動様式の変化などにより影響を受けた地域経済の回復支援、また長く続く物価高騰の影響を受けている生活者や事業者への支援を通じて地域の活性化につながる取組が求められている。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 情報発信力および拡散力の高い媒体等とタイアップし、本市への関心・知名度の向上による誘客、周遊を促進するための魅力発信と、市内事業者で使用できるクーポンを発行し、市民・来訪者等の消費意欲を高め、販売促進による地域経済の活性化を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 ・市公式LINEを活用し、市内飲食店等で使用できるプレミアムクーポンの発行 ・これまでのシティプロモーションを生かした広報媒体の露出による、市内外への魅力・情報発信 ・割引クーポン発行管理委託業務 ・ポスター、チラシ印刷			
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和5年度 677千円 令和6年度 81,997千円(見込) ※令和5年度12月追加補正・2月補正 令和6年度繰越事業 「地産地消!地域応援クーポン事業費(物価高騰対応臨時交付金)」		
本年度要求額	40,000			
総務部長段階査定額	40,000	【事業の内容】 ・市公式LINEを活用し、市内飲食店等で使用できるプレミアムクーポンの発行 ・これまでのシティプロモーションを生かした広報媒体の露出による、市内外への魅力・情報発信 ・割引クーポン発行管理委託業務 ・ポスター、チラシ印刷		
市長段階査定額	40,000	【事業の実績】 令和5年度 677千円 令和6年度 81,997千円(見込) ※令和5年度12月追加補正・2月補正 令和6年度繰越事業 「地産地消!地域応援クーポン事業費(物価高騰対応臨時交付金)」		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ・市公式LINEを活用し、市内飲食店等で使用できるプレミアムクーポンの発行 ・これまでのシティプロモーションを生かした広報媒体の露出による、市内外への魅力・情報発信 ・割引クーポン発行管理委託業務 ・ポスター、チラシ印刷		
財源内訳		【事業の実績】 令和5年度 677千円 令和6年度 81,997千円(見込) ※令和5年度12月追加補正・2月補正 令和6年度繰越事業 「地産地消!地域応援クーポン事業費(物価高騰対応臨時交付金)」		
国・県支出金	40,000	【事業の内容】 ・市公式LINEを活用し、市内飲食店等で使用できるプレミアムクーポンの発行 ・これまでのシティプロモーションを生かした広報媒体の露出による、市内外への魅力・情報発信 ・割引クーポン発行管理委託業務 ・ポスター、チラシ印刷		
地方債	0	【事業の実績】 令和5年度 677千円 令和6年度 81,997千円(見込) ※令和5年度12月追加補正・2月補正 令和6年度繰越事業 「地産地消!地域応援クーポン事業費(物価高騰対応臨時交付金)」		
その他	0	【事業の内容】 ・市公式LINEを活用し、市内飲食店等で使用できるプレミアムクーポンの発行 ・これまでのシティプロモーションを生かした広報媒体の露出による、市内外への魅力・情報発信 ・割引クーポン発行管理委託業務 ・ポスター、チラシ印刷		
一般財源	0	【事業の実績】 令和5年度 677千円 令和6年度 81,997千円(見込) ※令和5年度12月追加補正・2月補正 令和6年度繰越事業 「地産地消!地域応援クーポン事業費(物価高騰対応臨時交付金)」		
計	40,000	【事業の内容】 ・市公式LINEを活用し、市内飲食店等で使用できるプレミアムクーポンの発行 ・これまでのシティプロモーションを生かした広報媒体の露出による、市内外への魅力・情報発信 ・割引クーポン発行管理委託業務 ・ポスター、チラシ印刷		
備考欄				

企015	項目名	国際交流費	新規事業
予算書項目	国際交流促進費	ページ	171
年度	R7	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 都市交流係 0857-30-8022		
款 総務費	【11次総の施策体系】 2205 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 姉妹都市である韓国・清州市やドイツ・ハーナウ市、交流都市である中国・延辺朝鮮族自治州、本市に縁のあるブラジル鳥取県人会などの国際交流を推進している。これまでに培われた関係性を基盤としつつ、経済をはじめとする幅広い分野において交流の拡大・深化を図る必要がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 官民が連携しつつ、姉妹都市や交流都市などとの交流を推進することにより、市民の国際意識の高揚、相互理解の増進、関係・交流人口の拡大を図るとともに、外国人住民支援団体などとの連携を深めることにより、多文化共生のまちづくりの推進を図ることで、地域の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 国際姉妹・交流都市などとの連携調整、交流事業の実施 (2) 外国人住民支援団体等との連携		
前年度当初予算額	1,248	【事業の実績】 令和6年度 ○交流事業 ・(ハーナウ関係) 市民団体のオンライン交流会 ・(清州市関係) 市民団体の清州市訪問、文化交流 など ○外国人住民支援団体等との意見交換会 1回(見込)	
本年度要求額	1,365	【事業の実績】 令和6年度 ○交流事業 ・(ハーナウ関係) 市民団体のオンライン交流会 ・(清州市関係) 市民団体の清州市訪問、文化交流 など ○外国人住民支援団体等との意見交換会 1回(見込)	
総務部長段階査定額	1,118	【事業の内容】 (1) 国際姉妹・交流都市などとの連携調整、交流事業の実施 (2) 外国人住民支援団体等との連携	
市長段階査定額	1,118	【事業の実績】 令和6年度 ○交流事業 ・(ハーナウ関係) 市民団体のオンライン交流会 ・(清州市関係) 市民団体の清州市訪問、文化交流 など ○外国人住民支援団体等との意見交換会 1回(見込)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 (1) 国際姉妹・交流都市などとの連携調整、交流事業の実施 (2) 外国人住民支援団体等との連携	
財源内訳		【事業の実績】 令和6年度 ○交流事業 ・(ハーナウ関係) 市民団体のオンライン交流会 ・(清州市関係) 市民団体の清州市訪問、文化交流 など ○外国人住民支援団体等との意見交換会 1回(見込)	
国・県支出金	0	【事業の内容】 (1) 国際姉妹・交流都市などとの連携調整、交流事業の実施 (2) 外国人住民支援団体等との連携	
地方債	0	【事業の実績】 令和6年度 ○交流事業 ・(ハーナウ関係) 市民団体のオンライン交流会 ・(清州市関係) 市民団体の清州市訪問、文化交流 など ○外国人住民支援団体等との意見交換会 1回(見込)	
その他	0	【事業の内容】 (1) 国際姉妹・交流都市などとの連携調整、交流事業の実施 (2) 外国人住民支援団体等との連携	
一般財源	1,118	【事業の実績】 令和6年度 ○交流事業 ・(ハーナウ関係) 市民団体のオンライン交流会 ・(清州市関係) 市民団体の清州市訪問、文化交流 など ○外国人住民支援団体等との意見交換会 1回(見込)	
計	1,118	【事業の内容】 (1) 国際姉妹・交流都市などとの連携調整、交流事業の実施 (2) 外国人住民支援団体等との連携	
備考欄			

企016	項目名	国内都市交流総合推進費	新規事業
予算書項目	国内交流推進費	ページ	171
年度	R7	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 都市交流係 0857-30-8022		
款 総務費	【11次総の施策体系】 2205 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 姉妹都市である北海道釧路市、兵庫県姫路市、山口県岩国市、福島県郡山市、歴史的なつながりや共通するテーマなどがある他都市、各地域の県人会などとの交流を推進している。これまでに培われた関係性を基盤としつつ、経済をはじめとする幅広い分野において交流の拡大・深化を図る必要がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 官民が連携しつつ、姉妹都市などとの交流を促進することにより、相互理解の増進、関係・交流人口の拡大を図ることで、地域の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・岩国市・郡山市との姉妹都市提携周年記念事業の実施(相互訪問など) ・鳥取市施設入館無料キャンペーン(姉妹都市市民向け) ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加		
前年度当初予算額	1,327	【事業の実績】 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設入館無料キャンペーン(姫路市民向け) 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン(釧路・姫路市民向け) 令和6年度 各県人会総会参加、郡山市市制施行100周年記念式典参加、郡山市との和紙交流、お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン(姉妹都市市民向け)	
本年度要求額	5,508	【事業の実績】 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設入館無料キャンペーン(姫路市民向け) 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン(釧路・姫路市民向け) 令和6年度 各県人会総会参加、郡山市市制施行100周年記念式典参加、郡山市との和紙交流、お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン(姉妹都市市民向け)	
総務部長段階査定額	5,082	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・岩国市・郡山市との姉妹都市提携周年記念事業の実施(相互訪問など) ・鳥取市施設入館無料キャンペーン(姉妹都市市民向け) ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加	
市長段階査定額	5,082	【事業の実績】 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設入館無料キャンペーン(姫路市民向け) 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン(釧路・姫路市民向け) 令和6年度 各県人会総会参加、郡山市市制施行100周年記念式典参加、郡山市との和紙交流、お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン(姉妹都市市民向け)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・岩国市・郡山市との姉妹都市提携周年記念事業の実施(相互訪問など) ・鳥取市施設入館無料キャンペーン(姉妹都市市民向け) ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加	
財源内訳		【事業の実績】 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設入館無料キャンペーン(姫路市民向け) 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン(釧路・姫路市民向け) 令和6年度 各県人会総会参加、郡山市市制施行100周年記念式典参加、郡山市との和紙交流、お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン(姉妹都市市民向け)	
国・県支出金	0	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・岩国市・郡山市との姉妹都市提携周年記念事業の実施(相互訪問など) ・鳥取市施設入館無料キャンペーン(姉妹都市市民向け) ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加	
地方債	0	【事業の実績】 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設入館無料キャンペーン(姫路市民向け) 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン(釧路・姫路市民向け) 令和6年度 各県人会総会参加、郡山市市制施行100周年記念式典参加、郡山市との和紙交流、お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン(姉妹都市市民向け)	
その他	4,071	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・岩国市・郡山市との姉妹都市提携周年記念事業の実施(相互訪問など) ・鳥取市施設入館無料キャンペーン(姉妹都市市民向け) ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加	
一般財源	1,011	【事業の実績】 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設入館無料キャンペーン(姫路市民向け) 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン(釧路・姫路市民向け) 令和6年度 各県人会総会参加、郡山市市制施行100周年記念式典参加、郡山市との和紙交流、お城まつり物産展受入、鳥取市施設入館無料キャンペーン(姉妹都市市民向け)	
計	5,082	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・岩国市・郡山市との姉妹都市提携周年記念事業の実施(相互訪問など) ・鳥取市施設入館無料キャンペーン(姉妹都市市民向け) ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加	
備考欄	※その他財源の繰入金は、人づくり・まちづくり基金繰入金		

企017	項目名	歴史的建造物保存活用事業費	新規事業
予算書項目	城下町とっとりまちづくり推進事業費	ページ	171
年度	R7	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 総務費	【11次総の施策体系】2301		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 城下町とっとり交流館「高砂屋」は、貴重な歴史的建造物としての価値を後世に引き継ぎ、文化活動やまちづくり、交流の拠点として整備し、平成18年4月に開館。平成19年7月31日には国の有形文化財に登録。 【管理の形態等】 ①建物：所有者から寄付を受け鳥取市所有 ②土地：事業用地として所有者から鳥取市が賃借（10年間） ③管理運営：指定管理		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 平成21年度から公益財団法人鳥取市文化財団が指定管理者として管理運営している。多様な市民の文化に対する要求に応えるとともに、専門的知識や他の文化関連施設とのスケールメリットを生かし、市民文化の発展および地域振興に資することを旨とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	15,930	1. 施設管理に係る経費	
本年度要求額	16,032	①指定管理料 指定管理者：公益財団法人鳥取市文化財団（令和6年4月1日～令和11年3月31日）	
総務部長段階査定額	15,293	②事業用地土地賃借料 3,552千円 令和7年2月1日～10年間（月額296千円）	
市長段階査定額	15,293	2. 施設改修・修繕 出窓引違窓木建具等の修繕	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和4年度 8,167千円 令和5年度 8,167千円 令和6年度 11,389千円（人件費増加分1,199千円含む）（見込）	
国・県支出金	3,048	分担金 0	
地方債	0	負担金 0	
その他	0	使用料 0	
一般財源	12,245	手数料 0	
計	15,293	財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		贈収金 0	
		その他 0	
備考欄			

企018	項目名	文化振興費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	281
年度	R7	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【11次総の施策体系】2301 ●実施計画		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 少子・高齢化の進行などにより、文化芸術団体の構成員や伝統文化の保存団体が減少している。地域の文化芸術活動の持続・発展のため、活動者に対する支援や新たな担い手を発掘・育成していく必要がある。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 文化芸術団体などの活動に対する支援を行うとともに、青少年に優れた芸術を鑑賞する機会を提供することにより、豊かな人間性の育成や将来の文化芸術の担い手の育成を図ることで、本市の文化芸術の持続・発展につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	7,851	(1) 児童生徒を対象とした文化芸術事業 伝統芸能の観賞、演劇ワークショップ等	
本年度要求額	8,962	(2) 次世代育成の推進 若年層（乳幼児から中学生）を対象とした文化芸術事業の実施（0歳児からのコンサート、吹奏楽クリニック等）および本市出身の芸術家が、アート活動の魅力を次世代に広げるため、作品等制作教室の開催や活動の場（作品発表・販売等）を提供する。	
総務部長段階査定額	8,962	(3) 文化団体の育成 鳥取市文化団体協議会に対し、活動拠点である「文化活動ひろば」の運営管理費のほか、文化団体の組織化のため、会報制作、研修事業等を支援する。また、鳥取市文化団体協議会や新市域文化団体組織（連合体）に所属する団体の公立文化施設の施設使用料等を減額する。	
市長段階査定額	8,962	【事業の実績】 令和4年度 7,197千円（(1)4校、(2)3事業） 令和5年度 7,358千円（(1)4校、(2)4事業） 令和6年度 7,851千円（(1)11校、(2)4事業）（見込）	
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
財源内訳		分担金 0	
国・県支出金	2,050	負担金 0	
地方債	0	使用料 0	
その他	3,743	手数料 0	
一般財源	3,169	財産収入 0	
計	8,962	寄付金 0	
		繰入金 3,743	
		贈収金 0	
		その他 0	
備考欄			

企019	項目名	文化芸術推進事業補助金	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	281
年度	R7	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【11次総の施策体系】2301 ●実施計画		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 文化振興費	本市では、さまざまな分野の文化芸術団体や伝統文化の保存団体などが活動を行っている。地域の文化芸術活動の持続・発展に向けて、これら市民主体の活動を促進していく必要がある。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	7,340	市民による文化芸術に関する活動や、伝統文化の保存活動に対する支援を行うことにより、地域の文化芸術活動の持続・発展につなげる。	
本年度要求額	10,877	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	10,377	(1) 童謡唱歌100曲マラソン 童謡・唱歌の普及と音楽団体の親睦を図る。	
市長段階査定額	10,377	(2) 日本のふるさと音楽祭 地元出身の偉大な音楽家を顕彰するとともに、「童謡・唱歌のまち」・「日本のふるさと」鳥取を広くアピールする。	
区分	本年度予算額	(3) 文化芸術推進事業補助金 文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に必要な経費の一部を補助する。 ・市民文化祭開催補助 ・伝統・郷土芸能団体備品整備補助 ・国民文化祭参加補助 など	
財源内訳	国・県支出金 1,963	【事業の実績】	
地方債 0	その他 5,300	補助件数	
一般財源 3,114	計 10,377	令和4年度 14件	
		令和5年度 18件	
		令和6年度 19件（見込）	
備考欄		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、日本のふるさと音楽祭収入	

企020	項目名	文化施設のあり方に関する検討事業費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	281
年度	R7	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【11次総の施策体系】2301 ●実施計画		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 文化振興費	市民会館をはじめとする本市の主要な文化施設の老朽化に対応するため、平成31年2月、関係課で構成する「市民会館等文化施設のあり方検討庁内会議」を設置し、文化施設再編の方向性について、内部での調査研究を行った。 令和6年2月に策定した「ホール等文化施設のあり方に関する基本方針」を踏まえ、令和6年度は「新たな文化施設の整備に関する基本構想（案）」の策定のため、会議を4回開催した。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	19,053	文化芸術等の有識者の方々で構成する検討組織を設置し、「新たな文化施設の整備に関する基本方針」をたたき台としつつ、新たな文化施設の整備場所、施設機能・規模、運営体系などを検討し、「新たな文化施設の整備に関する基本構想」を策定する。	
本年度要求額	157	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	157	・委員会名 新たな文化施設の整備に関する有識者会議	
市長段階査定額	157	・委員構成 10名	
区分	本年度予算額	・開催回数 2回	
財源内訳	国・県支出金 0	【事業の実績】	
地方債 0	その他 0	令和4年度 180千円	
一般財源 157	計 157	令和5年度 66千円	
		令和6年度 15,643千円（見込）	
備考欄			

企021	項目名	舞台芸術X地域活性化事業費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	281
年度	R7	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【11次総の施策体系】2301 ●実施計画		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 特定非営利活動法人「鳥の劇場」は、市から旧鹿野小学校舎等を借り受け、演劇公演を中心に多彩なプログラムを提供する「鳥の演劇祭」を毎年開催するなど、本市の文化芸術の振興、国内外への発信、鹿野地域の賑わい創出などに寄与している。 本市は、鳥の劇場、鳥取県、地域住民などと連携し、「鳥の劇場」の舞台芸術を核とした地域の活性化に向けて取組を推進している。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 他地域にはない固有の資源である「鳥の劇場」、「舞台芸術」を生かした人材育成、交流促進、産業振興、賑わい創出などの取組を一体的に推進することにより、劇場施設を中心とした地域一帯を、多様な人々が「出会い」、「集い」、「学び」、「つながる」交流拠点エリアとして確立していくことで、文化芸術の振興、産業の振興、交流・関係・定住人口の増加などによる地域の活性化を目指す。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	125,447	(1) 文化交流拠点施設整備事業 【補助金：25,003千円】 旧鹿野小学校舎解体第2工区 25,003千円 × 10/10補助率 = 25,003千円	
本年度要求額	32,448	(2) 舞台芸術×人材育成モデル事業【委託料：4,945千円】	
総務部長段階査定額	32,448	①広報事業 (325千円)	
市長段階査定額	32,448	②演劇塾開催事業 (750千円)	
区分	本年度予算額	③市民演劇講座開催事業 (1,000千円)	
財源内訳		④小・中学生劇場空間体験事業 (2,170千円)	
国・県支出金	15,673	⑤企業研修トライアル事業 (700千円)	
地方債	0	⑥舞台芸術×賑わい創出モデル事業【補助金：2,500千円】	
その他	0	(3) 鳥の劇場及び周辺を会場とする「鳥の演劇祭/BeSeTo」の開催に対する支援	
一般財源	16,775	【事業の実績】	
計	32,448	令和5年度 58,748千円 令和6年度 125,447千円(見込)	
備考欄			

企022	項目名	文化芸術のまちづくり推進事業費(重点支援地方交付金)	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	281
年度	R7	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【11次総の施策体系】5696 ●実施計画		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルスや物価高騰等の影響により落ち込んだ文化芸術分野において、文化芸術団体などが活動を再開・継続していくうえで、活動に関する情報発信や芸術家の活動に対する支援が必要となっている。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 文化芸術団体と連携し、「文化芸術の良さ」を内外に広く発信することにより、文化芸術活動の持続発展並びに地域で文化芸術活動を応援する機運の醸成につなげる。 また、地元芸術家を活用する事業や、ギャラリーでの展示事業を支援することにより、地元芸術家の活動促進を図る。さらに、若手芸術家の活動拠点を整備することにより、将来の担い手および若手芸術家の育成を推進していく。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	0	(1) 地元芸術家の活用支援 鳥取市芸術家バンク登録者の芸術家を小・中学校へ派遣(公演・ワークショップ)	
本年度要求額	5,084	(2) 文化芸術の普及啓発(ラジオ放送、動画配信) 市内で活動する文化芸術団体等の活動をラジオ放送やインターネット動画等で公開し、文化芸術活動を市民に発信する	
総務部長段階査定額	5,084	(3) 民間ギャラリー活用支援 本市で活動する芸術家が、民間のギャラリーを使用する経費の一部を補助する	
市長段階査定額	5,084	(4) 地元芸術家活用支援事業 本市にゆかりのある芸術家を活用した事業を実施する市内の団体などに対し、実施に要する経費を補助する。	
区分	本年度予算額	(5) 若手芸術家育成拠点整備事業 若手芸術家が集い、創作活動・展覧会の開催・実演販売・情報交換・情報発信する拠点を中心市街地に整備する	
財源内訳		【事業の実績】 令和6年度見込) ※ (2)は令和5年度 (1)13件(2)12件(3)6件(4)7件(5)1件	
国・県支出金	5,084		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	5,084		
備考欄			

企023	項目名	麒麟のまち鳥取市美術展開催費	新規事業
予算書項目	麒麟のまち鳥取市美術展開催費	ページ	281
年度	R7	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【11次総の施策体系】2301 ●実施計画		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 文化振興費	市民に文化芸術を身近に感じていただく機会として、1962年（昭和37年）より毎年美術展を開催している。本市の文化芸術の持続・発展に向けて、実施内容などを随時検討しつつ、今後も継続していく必要がある。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	3,892	市民が芸術作品を制作・鑑賞する機会を提供することにより、市民の創作意欲や文化芸術に対する意識の高揚を図ることで、本市の文化芸術の持続・発展につなげる。	
本年度要求額	3,851	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	3,851	第64回麒麟のまち鳥取市美術展の開催	
市長段階査定額	3,851	(1) 委託先 麒麟のまち鳥取市美術展運営委員会	
区分	本年度予算額	(2) 部 門 日本画、洋画、書道、工芸、版画、彫刻、写真、デザイン、自由	
国・県支出金	662	(3) 会 場 鳥取県立博物館	
地方債	0	(4) 会 期 令和7年6月1日～6月8日	
その他	3,189	(5) 出品資格 麒麟のまち圏域（鳥取・岩美・若桜・智頭・八頭・香美・新温泉）在住、または鳥取市に通勤通学をしている中学生以上	
一般財源	0	【事業の実績】	
計	3,851	鑑賞者数	
分担金	0	令和4年度 2,020人（受賞作展示：やまびこ館1,168人）	
負担金	0	令和5年度 2,065人（受賞作展示：やまびこ館1,803人）	
使用料	0	令和6年度 1,897人（受賞作展示：やまびこ館1,314人）	
手数料	0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
財産収入	0	※その他財源の諸収入は、市民美術展収入	
寄付金	0		
繰入金	2,649		
諸収入	540		
その他	0		
備考欄			

企024	項目名	麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費	新規事業
予算書項目	麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費	ページ	281
年度	R7	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【11次総の施策体系】2301 ●実施計画		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 文化振興費	令和元年5月、麒麟獅子舞をはじめ、麒麟のまち圏域内の31の文化財で構成するストーリーが「日本遺産」に認定された。これを受け、麒麟のまち圏域1市6町と一般社団法人麒麟のまち観光局は、「日本遺産『麒麟のまち』推進協議会」を設立し、「麒麟のまち」圏域の活性化に向けて情報発信や普及啓発などの取組を推進している。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	3,600	日本遺産ストーリーや構成文化財の情報発信、来訪者の受入体制の充実などに取り組むことにより、麒麟のまち圏域への来訪者の増加、圏域内での周遊の促進、住民意識の高揚を図ることで、圏域の活性化につなげる。	
本年度要求額	18,844	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	18,844	令和7年度の日本遺産認定継続に向け、1市6町が連携して構成文化財等を活用した誘客事業などの強化に取り組むとともに、日本遺産「麒麟のまち」推進協議会が実施する情報発信、商品造成、普及啓発などの事業に要する経費を補助する。	
市長段階査定額	18,844	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和4年度 2,400千円	
国・県支出金	8,822	令和5年度 2,400千円	
地方債	0	令和6年度 3,600千円（見込）	
その他	1,200	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
一般財源	8,822		
計	18,844		
分担金	0		
負担金	0		
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	1,200		
諸収入	0		
その他	0		
備考欄			

企025	項目名	市民会館施設管理費	新規事業
予算書項目	施設管理費	ページ	283
年度	R7	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【11次総の施策体系】2301 ●実施計画		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 1967年（昭和42年）から鳥取市民会館の運営を行っており、市民の文化芸術活動の拠点の一つとなっている。2010年（平成22年）に耐震改修などを実施したものの、老朽化が進行していることから、適正な維持管理と併せて今後の方向性を検討する必要がある。		
目 市民会館管理費	【事業の目的及び効果】 市民の文化芸術活動などの拠点の一つとして市民会館の適正な管理運営を行うことにより、施設の機能維持を図ることで、利用者の安全・安心や利便性の確保につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 鳥取市民会館の管理運営業務 指定管理者：一般財団法人 鳥取市教育福祉振興会 (期間：令和6年4月1日～令和11年3月31日)		
前年度当初予算額	50,483	【事業の実績】 利用者数 令和4年度 37,753人 令和5年度 45,537人 令和6年度 48,000人（見込）	
本年度要求額	47,538		
総務部長段階査定額	47,538	【事業の内訳】	
市長段階査定額	47,538	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 46		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 47,492		
計	47,538		
備考欄			

企026	項目名	国際交流プラザ管理運営費	新規事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	171
年度	R7	所 属 名	企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253		
款 総務費	【11次総の施策体系】1404 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 日本人住民と外国人住民の相互理解や国際交流を促進するため、1997年（平成9年）から国際交流プラザの運営を行っている。本市の多文化共生のまちづくりを推進するうえで、今後も中心的な役割を担うことが期待されている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本市における国際交流・多文化共生の推進の拠点として当該施設を運営することにより、市民の国際意識の醸成、相互理解の増進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 英語および中国語担当職員を配置し、外国人住民向けの情報発信や相談業務、国際理解講座の運営、施設利用の受付などを行う。		
前年度当初予算額	7,238	【事業の実績】 施設利用者数 令和4年度 1,328件 14,778名 令和5年度 1,313件 17,026名 令和6年度 1,300件 17,000名（見込）	
本年度要求額	8,039		
総務部長段階査定額	8,039	【事業の内訳】	
市長段階査定額	8,039	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 8,039		
計	8,039		
備考欄			

企027	項目名	在住外国人支援事業費		新規事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	171	所 属 名
年度	R7	企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253			
款 総務費	【11次総の施策体系】1404 ●実施計画			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	「世界に開かれた交流都市鳥取」の理念のもと、国際交流の推進、国際感覚豊かな人づくりや多文化共生のまちづくりに取り組んでいる。日本人住民も外国人住民も多文化共生の意義を理解し、互いに安心・安全に暮らしていくため、地域における共生意識の醸成に向けた取組が求められている。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	167	外国人住民の日本語習得に対する支援や交流機会を創出することにより、外国人住民の日本社会に対する理解の推進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。		
本年度要求額	201	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	201	(1) 日本語ボランティアの登録促進、日本語指導ボランティア登録者への講習会の開催など資質の向上を図る。		
市長段階査定額	201	(2) 外国人住民を含めた市民が交流する談話会「にほんごカフェ」を実施する。		
区分	本年度予算額	【事業の実績】		
財源内訳		令和4年度 日本語ボランティア活動者 45名		
国・県支出金	0	講習会 新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止		
地方債	0	にほんごカフェ(4回) 38名		
その他	0	令和5年度 日本語ボランティア活動者 45名		
一般財源	201	講習会(1回) 参加人数 9名		
計	201	令和6年度 日本語ボランティア活動者 48名		
		(見込) 講習会(1回) 10名		
		にほんごカフェ(15回) 100名		
備考欄				

企028	項目名	市民国際理解推進事業費		新規事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	171	所 属 名
年度	R7	企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253			
款 総務費	【11次総の施策体系】1404 ●実施計画			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	「世界に開かれた交流都市鳥取」の理念のもと、国際交流の推進、国際感覚豊かな人づくりや多文化共生のまちづくりに取り組んでいる。日本人住民も外国人住民も多文化共生の意義を理解し、互いに安心・安全に暮らしていくため、地域における共生意識の醸成に向けた取組が求められている。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	312	市民が外国の言語や生活文化・習慣などについて学ぶ機会を創出することにより、国際感覚の醸成や外国人住民に対する理解の推進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。		
本年度要求額	311	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	311	国際交流プラザで国際理解講座(国際クッキング教室、講演会、ミニ講座、展示会)や、外国語講座(韓国語、ドイツ語、中国語)などを実施する。		
市長段階査定額	311	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	(1) 国際理解講座(参加人数)		
財源内訳		令和4年度 120名		
国・県支出金	0	令和5年度 33名		
地方債	0	令和6年度 50名(見込)		
その他	0	(2) 外国語講座(受講人数)		
一般財源	311	令和4年度 50名		
計	311	令和5年度 46名		
		令和6年度 43名(見込)		
備考欄				

企029	項目名	地域情報化推進費	新規事業
予算書項目	地域情報化推進費	ページ	169
年度	R7	所 属 名	企画推進部 デジタル戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026 【11次総の施策体系】2405 ●実施計画 【事業の経過及び背景】 地域情報化推進のため、通信ネットワーク、携帯電話、コミュニティFMなどの情報通信基盤及び行政サービスを提供してきた。		
款 総務費	【事業の目的及び効果】 地域情報化推進のため、情報化に関する情報収集を行うとともに、総合行政ネットワーク、鳥取情報ハイウェイ市町村アクセス網、地域イントラネット、公衆無線LAN、携帯電話用鉄塔等の各種情報通信基盤及び情報提供システムの適切な管理を行う。		
項 総務管理費	①市民、地域とのコミュニケーションの促進 ・公共施設、地区公民館等の高速インターネット環境・公衆無線LAN環境整備 ・「地域ふれあいサイト」（地区ホームページの運用） ・コミュニティスタジオの管理		
目 企画費	②学校施設における快適な情報教育環境の実現 ・高速インターネット環境整備 ③ICTを活用した各種行政サービスの提供による市民の利便性の向上 ・「とっとり施設予約サービス」等 ④携帯電話鉄塔・伝送路の維持管理 ⑤コミュニティFM中継局の維持管理 ⑥デジタルデバイス対策事業		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 地域イントラネット（学校、公民館等拠点接続）・公衆無線LANの管理 (2) 施設予約システムの管理 (3) 電柱共架料（イントラネット関係、総合行政ネットワーク関係） (4) 携帯電話用鉄塔・伝送路の借地維持管理		
前年度当初予算額	34,422	【事業の実績】 令和4年度 22,563千円 令和5年度 28,986千円 令和6年度 34,422千円（見込）	
本年度要求額	32,898	※その他財源の諸収入は、携帯電話伝送路使用料、コミュニティFM中継局設備使用料	
総務部長段階査定額	32,102	その他財源の内訳	
市長段階査定額	32,102	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	2,500	財産収入	0
その他	2,357	寄付金	0
一般財源	27,245	繰入金	0
計	32,102	諸収入	2,357
備考欄		その他	0

企030	項目名	超高速情報通信基盤整備事業費	新規事業
予算書項目	有線テレビジョン放送施設管理費	ページ	171
年度	R7	所 属 名	企画推進部 デジタル戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026 【11次総の施策体系】2405 ●実施計画 【事業の経過及び背景】 市民生活に必要不可欠な社会基盤の一つとして超高速情報通信網が必要となったことを受け、本市が所有する有線テレビジョン放送施設の光化を年次的に実施した。		
款 総務費	【事業の目的及び効果】 本市が所有する有線テレビジョン放送施設の耐災害性強化、老朽化及び高速化対応のため、有線テレビジョン放送施設のFTTH化を実施し、令和5年度末に全エリアの幹線及び局舎の整備が完了したところである。今後は、旧設備からの切替を行い、切替が完了したエリアより順次、旧設備の撤去を進めていく。		
項 総務管理費	【事業の内容】 旧設備からの切替のための引込・宅内修繕を実施するとともに、切替が完了したエリアより順次、旧設備の撤去を実施する。 旧CATV設備撤去 国府町 引込宅内修繕 福部町、用瀬町、佐治町、気高町、鹿野町、青谷町		
目 企画費	【事業の実績】 令和4年度 局舎内放送機器整備（国府・河原除く） 470,358千円（実績） 令和5年度 引込宅内修繕 224,246千円（実績） 令和5年度 CATV設備光化【国府町西部・河原町】 1,162,788千円（実績） 令和6年度 引込宅内修繕 246,286千円（見込） 令和6年度 旧CATV設備撤去【河原町】 59,664千円（見込）		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	305,950	その他財源の内訳	
本年度要求額	286,901	分担金	0
総務部長段階査定額	286,901	負担金	0
市長段階査定額	286,901	使用料	0
区分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳		財産収入	0
国・県支出金	0	寄付金	0
地方債	286,800	繰入金	0
その他	0	諸収入	0
一般財源	101	その他	0
計	286,901		
備考欄			

企031	項目名	統合型地理情報システム管理費	新規事業																				
予算書項目	内部情報システム管理費	ページ	175																				
年度	R7	所 属 名	企画推進部 デジタル戦略課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】情報システム係 0857-30-8027																						
款 総務費	【11次総の施策体系】2405																						
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 現行の統合型地理情報システム（統合型GIS）は平成27年度に導入し、令和2年度に運用を延長し長寿命化を行ってきたが、令和7年度に利用期間が満了することから、新統合型GISの導入が必要となっている。																						
目 電算処理費	【事業の目的及び効果】 鳥取県自治体ICT共同化推進協議会で実施する統合型GISの共同調達にあわせて、本市業務で必要となる個別機能の調達を行うことにより、各課が保有する地理情報の共有化など、業務の効率化を図る。また、市民へ公開可能な地理情報を積極的に公開することにより、市民サービスの向上を図る。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 統合型GISの共同調達にあわせて、本市業務に必要な個別機能の調達を行う。また、現行の統合型GISは令和8年1月までの契約となっていることから、新統合型GISが稼働する令和8年3月までの2か月間、現行の統合型GISの保守延長を行いサービスを確保する。																						
前年度当初予算額	11,949	【事業の実績】 令和4年度 11,949千円 令和5年度 11,949千円 令和6年度 11,949千円（見込）																					
本年度要求額	56,681																						
総務部長段階査定額	55,908	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>其他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	其他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
其他	0																						
市長段階査定額	55,908																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	11,924																						
地方債	31,900																						
其他	0																						
一般財源	12,084																						
計	55,908																						
備考欄																							

企032	項目名	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会事業費	新規事業																				
予算書項目	電算事務費	ページ	175																				
年度	R7	所 属 名	企画推進部 デジタル戦略課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026																						
款 総務費	【11次総の施策体系】2405 ●実施計画																						
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取県自治体ICT共同化推進協議会会則（平成27年5月12日施行） " 広域連携協約（平成28年4月1日締結） 鳥取市と鳥取県との間の地方公共団体における情報通信技術の共同化に関する事務の委託に関する規約（平成29年4月1日施行）																						
目 電算処理費	【事業の目的及び効果】 会員が相互に連携・共同した取組により、人口減少社会に対応する行政体制の維持、事務の効率化を目指し、業務や情報システムの標準化、共同化による経費削減のほか、情報システム運用上の安全性の確保、人材育成等に資することを目的とする。 名称：鳥取県自治体ICT共同化推進協議会 会員の構成：鳥取県、鳥取県内市町村																						
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 全会員又は特定の会員が共同で取り組む情報システムの整備及び運用等に関すること (2) 情報セキュリティに係る脅威に対する適切な対策に関すること (3) 行政職員におけるICT分野の人材育成に関すること (4) その他協議会の目的達成に必要な事業 ①行政イントラシステム（協議会調達）利用期間：R4.12～R9.11 ②電子申請・届出システム（協議会調達）利用期間：R5.4～R10.3 ③（鳥取・岡山）自治体セキュリティクラウド（鳥取県調達）利用期間：R4.4～R9.3 ④インターネット回線の共同調達（鳥取県調達）利用期間：③と同じ ⑤統合型GISの構築（令和8年度稼働予定）																						
前年度当初予算額	11,657	【事業の実績】 令和4年度 11,419千円 令和5年度 11,378千円 令和6年度 11,657千円（見込）																					
本年度要求額	24,748																						
総務部長段階査定額	24,748	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>其他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	其他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
其他	0																						
市長段階査定額	24,748																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	8,674																						
地方債	3,900																						
其他	0																						
一般財源	12,174																						
計	24,748																						
備考欄																							

企033	項目名	自治体行政スマート事業推進費	新規事業
------	-----	----------------	------

予算書項目	情報通信技術利活用促進事業費	ページ	175
-------	----------------	-----	-----

所 属 名	企画推進部 デジタル戦略課
-------	------------------

年度	R7
----	----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	電算処理費

(単位：千円)

前年度当初予算額	7,200
----------	-------

本年度要求額	16,245
--------	--------

総務部長段階査定額	7,894	その他財源の内訳	
市長段階査定額	7,894	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	7,894
計	7,894

備 考 欄

事業の概要

【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026

【11次総の施策体系】2405

【事業の経過及び背景】
多様化する市民サービスと労働力不足の課題への対策として、ICT技術を利用した次世代情報システムの導入に向けた調査・検討を進めてきた。

【事業の目的及び効果】
多様化する市民サービスと労働力不足の課題への対策として、ICT技術を利用した次世代情報システム(AI、RPA)を活用し、行政事務の効率化と市民サービスの向上を図るとともに、これまで人手で行ってきたデータ入力業務を、次世代情報システムの利用及び行政手続きのオンライン化を進めることで、事務の省力化、効率化、高速化を実現し、職員負担の軽減による働き方改革につなげる。

【事業の内容】
(1) RPAツールの運用
L GWAN系ネットワーク及び住民情報系ネットワークにRPAツールを導入し、効果の高い業務から順次、事務の移行を進めていくことで、職員を単純業務から解放し、専門業務に専念させることができる。
(2) AI議事録ツールの運用
各課で必要に応じて行っている会議議事録の作成について、AI議事録ツールを導入することで、作成にかかる時間及び負担を軽減し、市民への情報提供を迅速化させ、あわせて職員を専門業務に専念させることができる。
(3) 行政手続きのオンライン化
マイナポータル経由で受付した電子申請情報を住民情報系システムに取込を行うことで、行政手続きの効率化を図る。
(4) Web会議システムの運用

【事業の実績】
令和4年度 24,031千円
令和5年度 35,976千円
令和6年度 7,200千円(見込)